

令和6年度学校評価 結果報告について

学校評価委員会

成果と課題及び今後へ向けた改善案について

1 成果

- ☆全体集計ではほとんどの項目で A・B 評価が 80%以上であることから、今年度の学校運営については適切な取組をしていると評価されたものと受け止める。
- ☆自由記述で肯定的な意見をいただいていることについて、これまでの教職員の努力のたまものと受け止めて、周知・確認しながら今後も継続していけるよう努めていく。

2 課題及び今後へ向けた改善策（評価 C・D が 20%以上の項目について）

（1）教職員自己評価 No.24 について（※評価 C・D 〈16.9%〉が最も高かった項目）

- 校内で検討した結果、校外学習での地域資源・施設の活用や地域の人材を招いての体験・指導・鑑賞会などの開催を積極的に行っている現状を確認できた。コロナ禍前の取組へと復活している途上でもあることから、次年度へ向けて今年度と同様の活動を計画するとともにより積極的な展開も考えながら計画を進めていく。
- 学校間交流について、小学校や近隣大学等との交流は実施できたが、一部実施できなかった学部もあるので、次年度は復活する方向で進めていく。

（2）保護者アンケート No.7 について

- 教育情報化推進委員会を中心に、本校としての情報活用能力の育成方針について検討し、より学びを深める活用の仕方を探求しながら活用を進めていくとともに、保護者への理解啓発を図る等の対応策を考え実践していく。
- 保護者に対する広報が足りない面もあると考えられることから、各種お便りで取り上げたり授業参観で活用したりするなど、タブレット型端末以外にも ICT 活用がされていることの知らせ方を工夫していく。

（3）その他

- 通学バスについて
→関係する意見が多数挙げられていることについては、バス会社とのやり取りの中で伝えて改善を求めていく。